

## 部 会 報 告

# 平成 27 年度第 2 回若手現場見学会 「中之島フェスティバルタワー・ウエスト」

建設業部会

## 1. はじめに

建設業部会主催の平成 27 年度第 2 回若手現場見学会を、2 月 18 日に『中之島フェスティバルタワー・ウエスト』新築工事の現場において実施したので本誌に紹介する。

参加者は事務局を含め 26 名であった。

## 2. 工事概要

中之島フェスティバルタワー・ウエスト建築工事は、大阪駅からほど近い北区中之島 3 丁目に位置し、朝日新聞ビルと大阪朝日ビルを解体し、そこへ地上 41 階・地下 4 階建て、高さ 200 m の複合施設を建築する工事である。低層階には文化交流施設の核として、中之島・香雪美術館（仮称）と、約 300 人収容の多目的ホール、その上の基準階には関西トップクラスの BCP 対応のハイグレードオフィスが 26 フロア、最上部のホテル階には大阪最高級のラグジュアリーホテルが配される。完成すると 2012 年 11 月に竣工した、東地区の中之島フェスティバルタワーと合わせて日本で最も高いツインタワーとなる（写真—1）。両タワーを地下でつなぎ、水都大阪の象徴である中之島に『フェスティバルシティ』が誕生する。



写真—1 建物完成パース

建物概要を以下に示す。

建築主：(株)朝日新聞社・(株)竹中工務店

施工：(株)竹中工務店

設計・監理：(株)日建設計

工期：2014 年 7 月 1 日～2017 年 3 月末(33 ヶ月)

敷地面積：8,377.84 m<sup>2</sup>

建築面積：約 6,100 m<sup>2</sup>

延床面積：約 150,000 m<sup>2</sup>（建築物全体）

用途：事務所・ホテル・美術館・多目的ホール・店舗等

その他：制振構造（耐震性能 S グレード、国内最高水準）

CASBEE- 新築 S ランク



写真—2 見学会説明会場

## 3. 現場見学

現場見学は、事務所の大会議室にて工事概要等の説明を受けた後、現場を案内して頂いた。

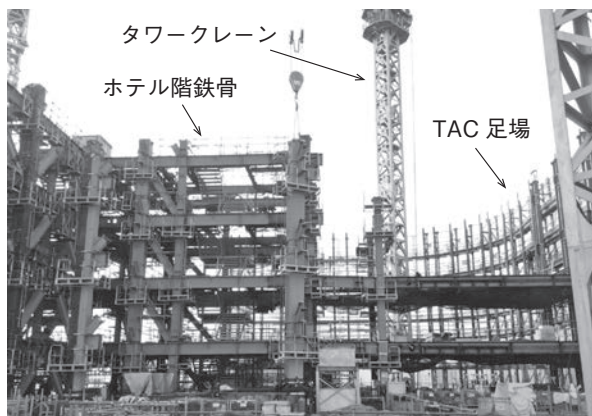
説明では、阪神高速を跨ぐ様に築造された朝日新聞ビルの体育館を、阪神高速の一斉点検時に 6 日間の昼夜施工で解体した事や、解体ガラを一度地下へ集め、まとめて搬出した施工方法（解体ガラ、スロープ直積み掘削）、既設地下外壁を利用した山留め壁計画、超大口徑 RC 連続柱列山留め壁の施工による、近接する地下鉄四ツ橋線の構造物への影響防止と変位監視、建

物の制振ダンパーの設置位置や能力、BCP 対応として有事の際にも3日間建物全体が機能する為の3,500 kVA の非常用発電機や合計容量 100,000 l のオイルタンク設備等について教えて頂いた。

当日の作業は、ホテル階（32階～40階）では鉄骨建方と床躯体工事・ALC 工事、基準階（6階～31階）では上層から低層に向けて、外装 ACW ⇒ ALC ⇒ 外周柱型下地ボード貼 ⇒ 耐火被覆 ⇒ 建具枠取付 ⇒ 一般壁下地ボード貼 ⇒ 天井内設備配管・配線 ⇒ 消化・空調・ダクト接続 ⇒ 天井器具取付 ⇒ システム天井下地 ⇒ トイレ・廊下仕上 ⇒ OA フロア工事が行われていた。また、地下階（B3階～B1階）では躯体工事が行われていた。

低層階の一部は土足厳禁の仕上げ工事だった為、見る事が出来なかったがその他は一通り案内して頂いた。

ホテル階の鉄骨建方では、外周に自動昇降式足場兼養生柵（TAC）を採用していた。これはその名の通り足場と養生柵、更には転落防止を兼ねた装置であり、建物外周を8つのブロックに分けて囲い、現場の進捗に合わせてブロック別に油圧ジャッキを使用し昇降させる装置である。現場では阪神高速上への資機材の二重の落下防止対策として、防護構台を設置していた（写真—3）。



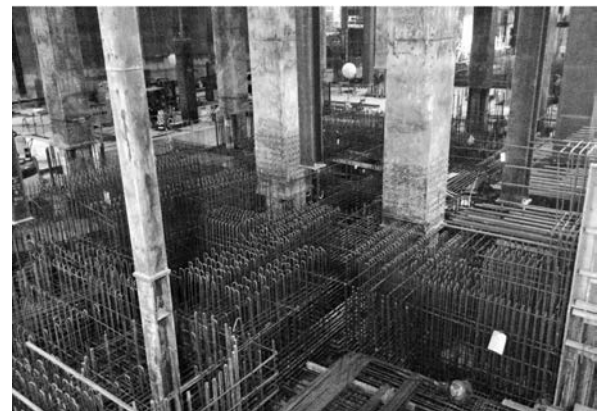
写真—3 鉄骨建方の状況

基準階は階を降りるにつれて、上記の作業内容の通り徐々にフロアが完成していく様子を見る事が出来、完成までの流れが非常に良く分かり勉強になった（写真—4, 5）。

尚、当日の就労人数は職員49名・作業員925名であった。職員全員がiPadを持ち歩き、朝礼では、プロジェクター4台にiPadの映像を出力し、当日の作業説明・調整に使用しているとのものであった。その他、職員間でデータを共有し連絡調整に使用していると説明を受



写真—4 天井工事の状況



写真—5 地下工事の状況

け、現場管理のIT化を実感した。

現場内は資機材が整理整頓されており非常に綺麗であった。また、安全面も二丁掛けの安全帯の掛替確認場や、傾斜を付けた平均台を毎日全作業員に渡ってもらう体調チェックを行う事で災害防止を図っていた。また、工事用エレベーター昇降時の掛け声の実施、現場入退場ルールの周知徹底等、非常に統率が取れた現



写真—6 現況の建物外観全景

場だと感じた（写真－6）。

#### 4. おわりに

今回の参加者は30代前後が多かったが、私も含め大規模建築工事を見るのが初めての参加者が多く、見る物全てが新鮮で貴重な経験をさせて頂いたという声

が多かった。

最後にお忙しい中、丁寧に説明・案内して頂いた(株)竹中工務店大阪本店 作業所 品質・計画グループ 課長丸山様、同作業所 機械・安全グループ 主任春川様並びに現場スタッフの方々に厚くお礼申し上げます。

JCMA

